

現行まちづくり基本方針の評価

－各種データから見た評価－

魅力と活力あるまちづくり

- 視点① 魅力あるまちづくりが進んでいるか
- 視点② 活力を生み出すまちづくりが進んでいるか

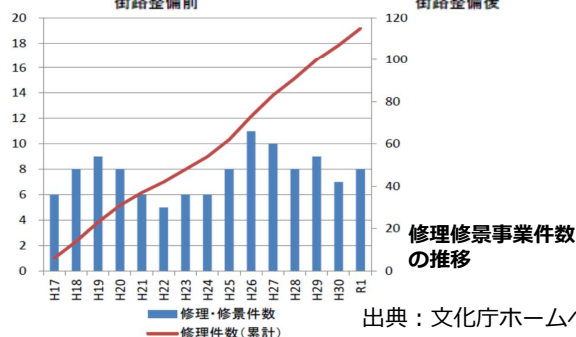
視点① 魅力あるまちづくりが進んでいるか

○地域資源の発掘・活用（古民家、景観、歴史文化）

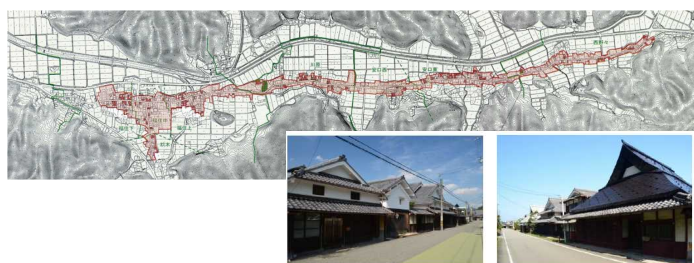
・篠山地区及び福住地区では、伝統的建造物等の修理修景事業により、歴史的なまちなみ景観が保全



篠山地区（約40.2ha）



出典：文化庁ホームページ 31



福住地区（約25.2ha）



・地区選定をきっかけに、地域団体によりイベントが開催され、観光客数が増加
 ・NPO法人による古民家再生などの保存活動も実施

保存地区の活用とまちづくり

- ・伝統的建造物の修理・修景の進展に伴い、伝統建造物を活用したイベントが増加している。
- ・伝統的建造物の空き家への移住、店舗等への活用などが増えている。

住民等の取組

- ・両地区ともまちなみ保存会が発足し、毎月理事会を開催し、町並み保存活動に主体的に取り組んでいる。
- ・両地区ともに伝統的な祭礼が継承されており、コミュニティの維持に寄与している。
- ・NPOによる古民家再生ボランティアの取組や地域おこし協力隊を中心に、学生と連携した取組など、保存活動の広がりを見せている。



まちなみアートフェスティバル



ササヤマルシェ



住吉神社ピアラス



丹波篠山ひなまつり



まちなみ保存会



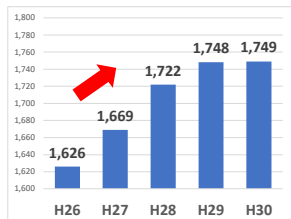
防災訓練



住民による竹林整備



NPOによる古民家再生



丹波篠山市観光入込客数の推移（単位：千人）



水無月祭(福住地区)



竹を活用したバス停修景

出典：文化庁ホームページ資料から抜粋

・ 県は市町と協調して平成19年度から古民家再生を先導的に支援

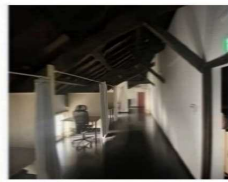


再生事例



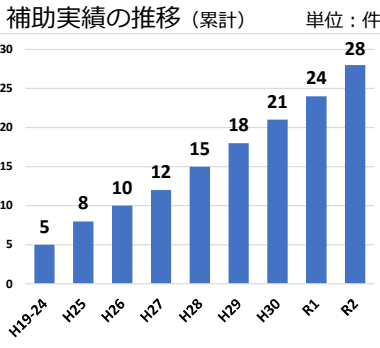
山陽盃酒造
(宍粟市山崎町山崎)

2018年に火災にあった母屋を、酒展示販売・試飲場として再生。地域のにぎわいづくり、街並み保全に寄与



籠邸
(伊丹市伊丹)

軽食を楽しめるコミュニティスペースやコワーキングスペースとして活用



景観形成地区等の指定状況

- ・ 県及び市において、景観形成地区などを指定・選定し、景観を保全 (県内の景観形成地区等は108地区 (R3.4.1現在))
- ・ 景観行政団体等は16市で、市による景観まちづくりの動きが活発化



斑鳩地区 (太子町) H24年度指定



高砂地区 (高砂市) H18年度指定



山崎地区 (宍粟市) R1年度指定



龍野地区 (たつの市) H1年度指定



平福地区 (佐用町) H22年度指定



浜坂味原川周辺地区 (新温泉町) H19年度指定



指定・認定	地域・地区の数
県	25
市	83

- ・ 県民参加型の景観資源の発掘や情報発信により、県民の景観に対する関心が高まり、来訪者・観光客の増加が期待される

① 県民参加型の景観資源の発掘

② SNSを活用した効果的な情報発信

ひょうごの素晴らしい景観を眺められるポイントを公募

応募総数：931件

インターネット投票
23,699票

ひょうごの景観ビューポイント150選を選定



【ルート案内アプリ画面(イメージ)】(地図：国土地理院地図サービスのデータを加工)

ツイッターフォロワー

5,746人

インスタグラムフォロワー

10,590人

出典：パンフレット「ひょうごの景観ビューポイント150選」

35

地域資源

～兵庫県内の文化財件数（文化財保護法に基づくものに限る）～

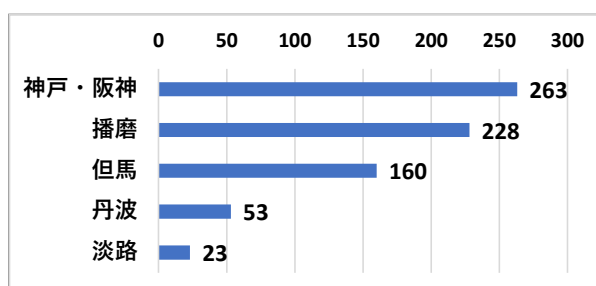
- ・ 県内の文化財件数は、全国上位
- ・ リノベーションが比較的容易な登録文化財の件数は特に多いが、地域で偏り

令和3年6月1日現在

	全国		兵庫県	
	実数	実数	構成比	都道府県順位
国宝（建造物）	228件	11件	4.8%	4位
重要文化財（建造物）	2,523件	109件	4.3%	4位
重要文化的景観	70件	1件	1.4%	15位
重要伝統的建造物群保存地区	123地区	6地区	4.9%	4位
特別史跡名勝天然記念物	164件	1件	0.6%	37位
史跡名勝天然記念物	3,203件	75件	2.3%	15位
登録有形文化財（建造物）	12,966件	707件	5.4%	2位

出典：文化庁HP

登録文化財（建造物）の
地域別件数
（答申ベース）



36

・日本遺産の9件が兵庫県に関連。全国最多。全認定104件（令和2年度現在）



- ① 丹波篠山 デカンショ節・民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶（平成27年）
- ② 古事記の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」～古代国家を支えた海人の営み～（平成28年）
- ③ 播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道（平成29年）
- ④ きっと恋する六古窯—日本生まれ日本育ちのやきもの産地—（平成29年）
- ⑤ 荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～（平成30、令和元年）
- ⑥ 「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂（令和元年）
- ⑦ 日本海の風を生んだ絶景と秘境 幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」（令和元年）
- ⑧ 「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼」（令和元年）
- ⑨ 「伊丹諸白」と「灘の生一本」 下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷（令和2年）

日本遺産

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーとして文化庁が認定ストーリーを語る上で不可欠な魅力ある有形・無形の様々な文化財群を総合的に活用する取組を支援

地域活性化と景観まちづくり（養父市明延地区）

・鉱山関連遺構や鉱山従業員の社宅が残るまちなみなど、産業遺産（地域資源）の活用により、観光客が増加

鉱山町の景観保全と活用

➢ 鉱山従業員の共同浴場や社宅、鉱山町特有のまち並みを保全しつつ魅力を向上するため、施設を修繕し活用。



明延にあった共同浴場の一つ「第一浴場」

・昭和9年に建てられ、鉱山作業員や家族らが無料で利用していた共同浴場を改修し、平成28年に資料館として整備。
・鉱山内外にあった鉱石や消防団の制服、鉱山の壁画の複製などを展示。



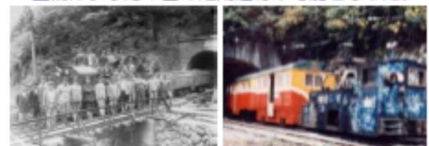
旧社宅群の公開・活用

・住民、NPO法人、行政等の協働により、かつて立ち並んでいた旧北屋長歴社宅に、当時の生活を再現。
・古い家具やこたつなどを設置し公開するなどイベントで多用途に使用。

一元電車の復活運行

➢ 開山とともに廃止され、市に寄贈された鉱山鉄道（一元電車）を、地域住民と行政・ボランティアにより、復活。

➢ 現在では運転士の育成、約70mの常設軌道の整備により月1回の定期運行が可能となった。



鉱山探検当時の一元電車



イベントの様子

常設軌道の体験乗車会

地域活性化と賑わいづくり

➢ 地域住民やNPO法人等との協働により、現存する鉱山関連施設を保全するとともに地域の魅力として広く発信。

➢ 地域が一体となって景観形成の取組を実施。



探検坑道の案内

・明延鉱山の歴史・文化を次世代に伝えるため、地域住民がガイドクラブを設立。
・行政は、明延鉱山から坑道の一部を借り受け鉱山学習施設として整備。
・ガイドクラブが坑道を案内



旧北屋社宅の修繕

・平成25～26年に旧北屋長歴社宅4棟の修繕を実施。
・ボランティアを募り、地域住民、NPO法人、学生が参加し、屋根のペンキ塗りや周辺の除草など修繕作業を実施。

施策の効果

近代化産業遺産
平成19年度 経済産業省

「明延鉱山探検坑道（旧世谷通洞坑）」
「明神電車（一元電車）と蓄電池機関車」
「明盛共同浴場（第一浴場）建屋」が、生野銀山（朝来市）とともに経済産業省の近代化産業遺産群33に認定された。

日本遺産
Japan Heritage

平成29年4月28日に、養父市の明延鉱山・中瀬鉱山を含む6市町にまたがる「播但貫く、銀の馬車道 鉱石の道」のストーリーが文化庁の日本遺産に認定された。



視点② 活力を生み出すまちづくりが進んでいるか

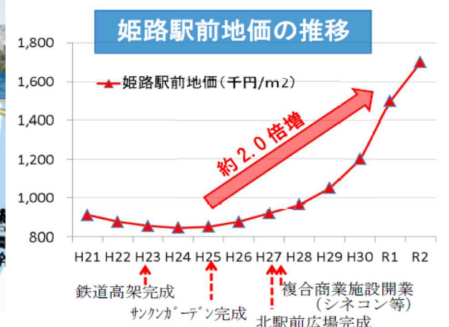
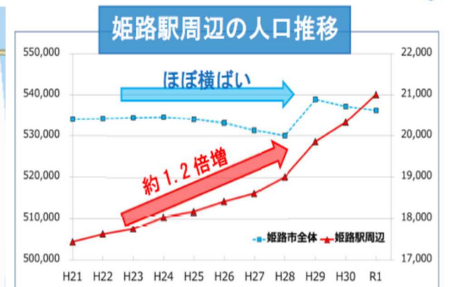
- 中心市街地（駅前、商店街）の再生
- 空き家の活用

39

駅前周辺の再整備（姫路駅）



- ・市街地整備手法を活用し、魅力ある駅前空間として再整備
- ・駅周辺人口が増加し、駅前地価も上昇



- ・住宅・商業施設・公益施設、駅前空間の再整備により、中心市街地の賑わいを回復
- ・中心市街地の人口が増加し、歩行者等も増加



従前



竣工後

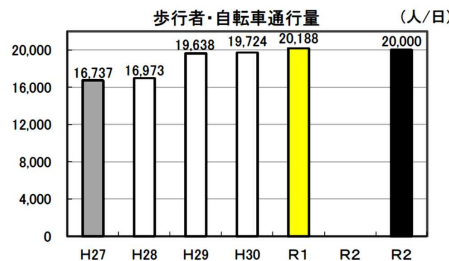
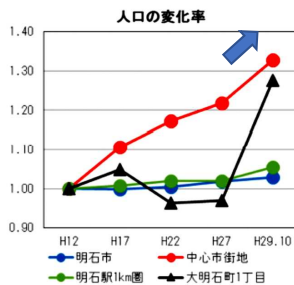
H24～28年度の6年連続で人口約5.2万人増加、それに伴い、個人市民税収は10億円増



出典：広報あかし（令和元年8月15日）

中心市街地における持続的な賑わいの創出
 公共公益施設の整備や住宅の供給により、大規模小売店舗の撤退等により低下した賑わいの回復

駅前の交通結節機能の向上、周辺地区への回遊性の向上
 駅前広場や歩行者デッキの整備により、交通機能の円滑化や歩行者の安全確保、魚の棚商店街への回遊性の向上



◆新旧の公共公益施設の利用状況

旧市立図書館 (H26)	275,921 人/年
あかし市民図書館 (H29)	943,835 人/年
旧支援センター (H26)	38,304 人/年
あかし子育て支援センター (H29)	130,664 人/年
旧駅前サービスコーナー (H26)	63,445 人/年
あかし総合窓口 (H29)	130,347 人/年

賑わい創出・地域活性化に資する道路空間の魅力的な活用

- ・賑わい創出・地域活性化に資する道路空間の魅力的な活用として、神戸市・姫路市において、全国初の歩行者利便増進道路「ほこみち」を指定（R3.2）

ほこみちとは

賑わいのある道路の構築のための道路の指定制度です。

制度のPoint

Point①
歩道等の中に“歩行者の利便増進を図る空間”を定めることが可能

Point②
特例区域では道路空間の活用を柔軟に許可

Point③
道路空間を活用する者の公募による選定が可能
その場合、最長20年の占有が可能

神戸市 さんのみやちゅうおう
三宮中央通り

道路管理者：神戸市
 路線名：神戸市道三宮中央通り線
 場所：神戸市中央区三宮町1丁目3番9地先～3丁目1番18地先
 指定日：令和3年2月12日 ※コロナ占用特例からの移行

コロナ占用特例の状況

Kobe

Himeji

姫路市 おおてまえ
大手前通り

道路管理者：姫路市
 路線名：姫路市道幹第1号線
 場所：姫路市西駅前町1番1地先～本町68番地先
 指定日：令和3年2月12日

活用イメージ

・商店街の活性化をまちづくりの観点から捉え直し、商店街とその商圏となる周辺住宅地において、商業者と地域住民等が実施するまちなか再生の取組が進行

■ 畑原市場の再整備【水道筋区域（神戸市灘区）】

店舗の減少や建物の老朽化が進む市場を、民間分譲マンション及び店舗付戸建住宅用地に再整備

<小規模再開発支援事業(住宅市街地総合整備事業(密集市街地総合防災事業))>

<p>【整備前】 畑原市場 営業店舗：22店舗中12店舗(整備地区内)</p> <p>※うち5店舗が水道筋内で移転 ※4店舗に対して商店街活性化事業により移転費等を補助</p>	<p>【整備後】 分譲マンション等 建物用途：分譲マンション99戸 戸建住宅用地4区画 施行面積：約0.23ha 事業期間：R2～R5 事業費：約36億円 補助額：約1.3億円</p>
--	--



整備前(畑原市場)



整備前(事業予定地)



整備状況

まちなか再生区域名	所在地	指定時期
水道筋区域	神戸市灘区	平成27年8月
宵田・元町区域	豊岡市	平成28年3月
伊丹サンロード区域	伊丹市	平成29年3月
東山・ミナイチ区域	神戸市兵庫区	平成29年10月
洲本外町区域	洲本市	平成30年4月
ono800(おのハチマルク)区域	小野市	平成31年4月
杭瀬区域	尼崎市	令和2年6月

空き家の活用

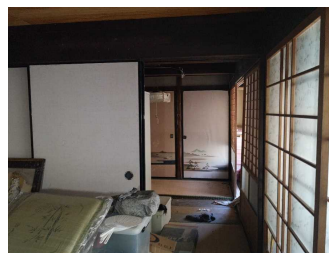
・住宅ストックの有効活用や地域の活性化を促進するため、空き家改修を支援

改修事例

廃村集落の空き家6棟を活用し、宿泊施設・交流施設として改修
自然環境を生かし、都市部からの客を呼び込み、地元住民との交流を図る



【建物所在地】佐用郡佐用町若州



空き家活用支援事業

活用が可能な一戸建て住宅の空き家又は共同住宅等の空き住戸を、住宅、事業所、地域交流拠点として活用するための改修工事費の一部を県と市町が協調補助。(補助限度額は、関西府県で最大)

種別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	計	
住宅型	一般	17	15	30	45	12	18	26	25	188
	若年・子育て	—	—	—	—	14	12	20	33	79
事業所型	一般	—	—	6	2	1	0	4	5	18
	UJiター	—	—	—	—	—	—	—	—	0
地域交流拠点型	—	—	3	1	1	3	1	9	18	
計	17	15	39	48	28	33	51	72	303	

現行まちづくり基本方針の評価

－各種データから見た評価－

自立と連携のまちづくり

- 視点① 地域の主体的なまちづくりが進んでいるか
- 視点② 地域間で連携したまちづくりが進んでいるか

視点① 地域の主体的なまちづくりが進んでいるか

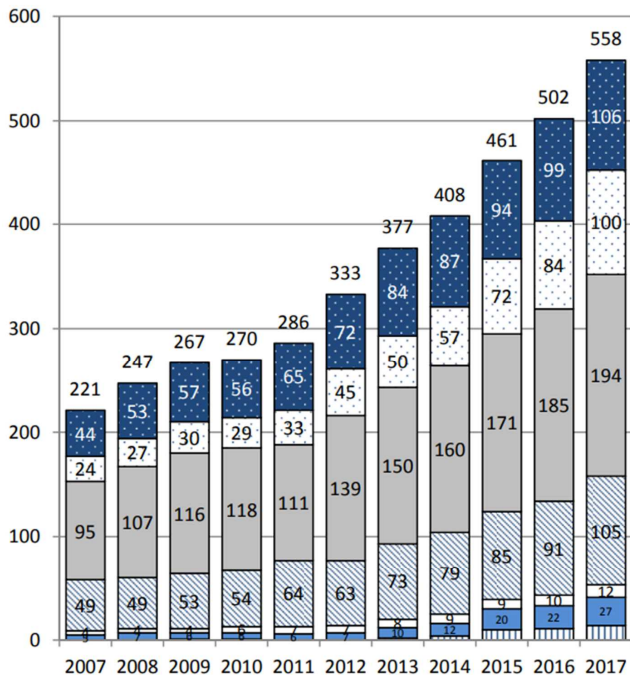
- 小規模集落における持続可能な地域運営
- オールドニュータウンの再生

小規模集落数



- ・県内の小規模集落数は**継続して増加**
- ・今後も**小規模化、無人化**が進んでいく可能性

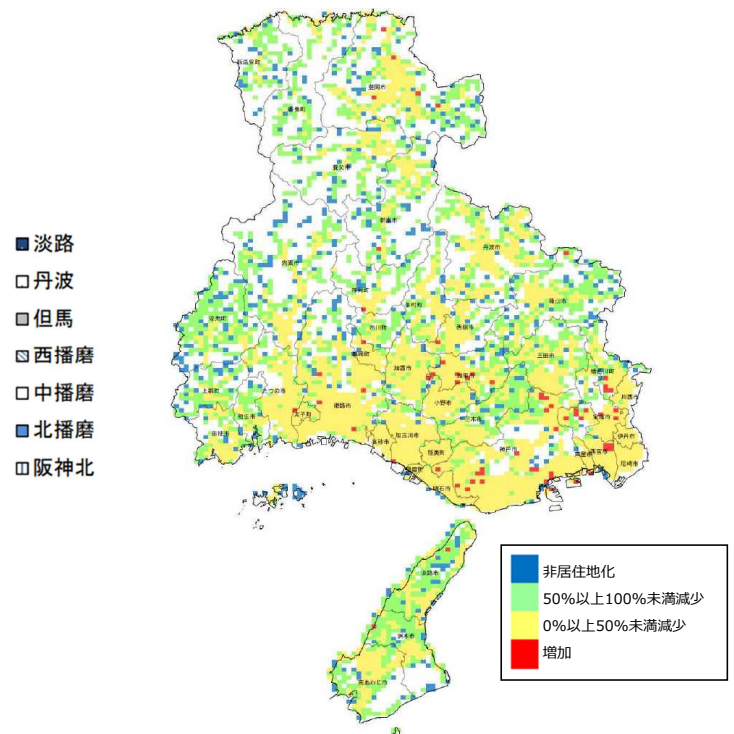
(集落数) 小規模集落数の推移(県)



※小規模集落：世帯数50戸以下で高齢化率（65歳以上比率）40%以上の集落（市街地及びその周辺、駅周辺などを除く）

出典：将来構想研究会第2回関連データ集

2050年の人口増減状況（2010年との比較）



出典：国土交通省「国土のグランドデザイン2050」

- ・住民同士のつながりや交流の促進、地域の課題解決に向けた**地域コミュニティ活動が各地で展開**

田野口むらづくり協議会（多可町）

- ・以前より地域の将来を危惧していた住民が全員で協議会を設立し、活動を開始
- ・集落の活性化も視野に、住民らが全て手作りでコミュニティ交流の場となる約6,000㎡の公園を整備
- ・地域の子どものための自然体験学習や野外ヨガスタジオなど、地域内外から多くの人が来園
- ・葉ボタンを栽培して独自財源を確保、公園の維持管理や交流活動を実施



北岡本自治会（丹波市）

- ・以前より、放置された森林の間伐の必要性を話し合っていたが、平成26年丹波市豪雨災害をきっかけに、自治会による間伐・植樹などの森林整備の取組
- ・住民自らが機材を操作して間伐作業を行い、間伐材は薪ボイラーや薪ストーブの燃料として出荷
- ・都市との交流を目的とした植樹祭や山歩きツアー等を実施する他、防災授業や防災教育の教材づくりに参画



- ・民間事業では採算がとりにくい地域において、**住民自らが出資、運営する団体**が地域の暮らしを支える取組がみられる

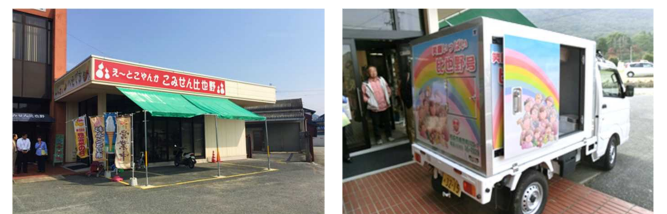
株式会社長谷（神河町）

- ・JAの売店、ガソリンスタンドの撤退を契機に、長谷地区の全世帯が出資して地域運営組織として設立
- ・近隣業者から仕入れた生鮮食料品の販売し住民ニーズに応じたコンビニエンスストアを運営
- ・住民の足となる自動車に必要なガソリンスタンドは地域の貴重な店舗
- ・神河町から窓口業務（納税証明書、住民票の写し等印鑑登録証明書）や支所の施設管理業務を委託



ええまち比也野里（西脇市）

- ・地域自らが主体となった高齢者支援・子育て支援、地域資源を活かし域外から人や資金が流入する地域づくり
- ・日用品や惣菜等の販売や住民交流拠点（喫茶、サロン）の運営
- ・移動販売車の運行による買物支援
- ・特産品の開発、味噌づくり、竹炭づくり、農作業など農村体験講座等による、地域内外との交流や資金づくり



- ・地域で暮らす人々が中心となって、地域課題の解決に向けた**取組を持続的に実践**する組織
- ・法人格を持たない**任意団体が約86%、NPO法人が約7%**（平成28年10月総務省調査）
- ・事業拡大、団体の信用度UP、個人責任の回避などを図り、持続可能性を高めるため、法人化の動きが出てきている

■法人化した7団体（地域再生大作戦）

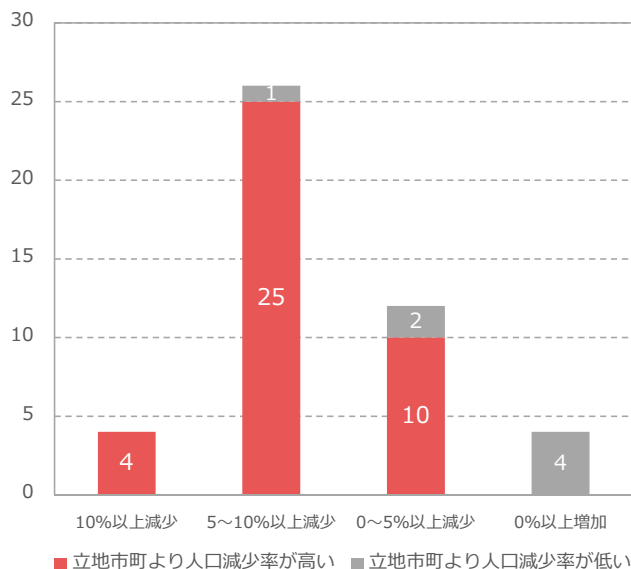
市町	地区	団体名	法人形態	事業内容
丹波篠山市	大山	営農支援法人アグリサポート	(株)	農産物加工品販売等
丹波篠山市	日置	コベクロ	(株)	地域特産品開発、販売
神河町	寺前	寺前村振興公社	(株)	食料品販売、店舗運営
丹波篠山市	福住	SHUKUBA	(特非)	食品加工所等運営
丹波市	大路	みつおおじ	(一社)	農泊ツアー、空き家提供
淡路市	岩屋	恵美寿	(株)	直売所、レストラン運営
淡路市	佐野	さの小	(株)	レンタルスペース等運営

郊外住宅地の状況

40年以上が経過した団地（オールドニュータウン）の8割（39団地）が、**所在市町全体の人口減少率よりも高い水準**にあり、徐々に空き地・空き家化が進行。

8割が周辺市街地よりも減少

オールドニュータウンの人口減少の状況

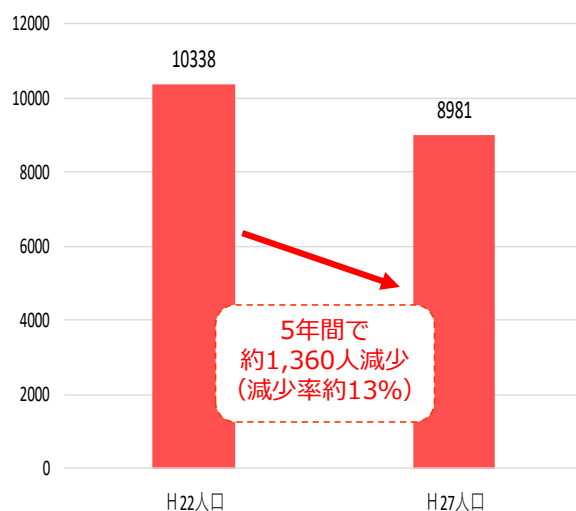


国勢調査により人口が適切に把握できない3団地を除く。また、ニュータウンの一部の町丁目が把握できない団地はそれ以外の町丁目データを基に作成。

出典：H27国勢調査

5年で1割以上減った団地も

減少率が特に大きい団地（北鈴蘭台※）の人口推移



※国勢調査により全ての町丁目の人口を把握できる団地のうち、最も減少率の大きい団地。

出典：国勢調査

- ・明舞団地では、県がオールドニュータウン再生のモデルとして主体的に取組を推進
- ・団地の一部では、**地価の上昇や若年人口の流入**など、再生の兆しが見られる

明舞団地の概要

面積 約197ha
 入居開始年 昭和39年
 現況住戸数 約11千戸
 居住人口 約20.5千人（H27）

一部エリアで若年者数が増加

【若年者率の増減(国勢調査)】

区分	H17⇒22	H22⇒27
明舞団地全体	-5.2% (-2,017人)	-4.0% (-1,103人)
松が丘3丁目	-1.0%	+2.5%
松が丘5丁目	-6.5%	+1.3%
南多聞台5丁目	-8.0%	+11.9%
南多聞台6丁目	-4.0%	+7.1%

一部エリアで基準地価が上昇

【基準地価】

所在地	R2基準地価	変動率
兵庫県全体	148,769円/㎡	-0.87%
松が丘5-15-10	127,000円/㎡	+1.60%
狩口台2-5-15	135,000円/㎡	+1.50%



高齢者を支援するNPO活動が定着
 NPOひまわり会による食堂運営と配食サービスが定着し、利用者数が増加。
 【NPOによる提供食数】(単位:食)

	H15	R1
食堂	1,909	9,767
配食	192	14,220
合計	2,101	23,987

(明舞団地再生の取組概要)
オールドニュータウン再生モデル事業

- ・住み替え相談窓口の運営や明舞祭の開催等を実施し、団地住民の自立した生活の継続を支援

まちづくり交流拠点の運営(ソト)

- ・住民・地域団体・大学等の交流・情報発信の拠点として地域団体が運営

明舞センター地区再生事業の推進(ハト)

- ・高齢者サポートゾーン(H23.4 入居開始)
- ・公社住宅ゾーン(H23.4 入居開始)
- ・商業・住民交流ゾーン
 H25.3 複合商業施設(コムボックス明舞)開業
 H26.3 公社既存施設(松が丘ビル)改修
 H27.3 公社既存施設(明舞プラザ)改修
 H30.11 第2期事業(ピエラ明舞)一部開業
 H31.4 第2期事業(ピエラ明舞)全面開業

- ・増加する空き家や空き店舗の**遊休不動産の利活用**を図り、地域の活性化につなげる取組が展開されている

明舞リノベスクール

- ・空き店舗や公共空間の利活用による再生を推進するため、「リノベーションスクール@明舞団地」を開催
- ・起業希望者が具体的な空き物件を活用したリノベーション事業計画を立案し、不動産オーナーの賛同により事業化
- ・戸建て住宅を私設図書館やシェアキッチンに利用する計画、児童公園をユニークなイベントで利活用する計画などが提案され、実現に向けて活動中



きたせんタウン商店会

- ・「明舞北センター商店街」の店主らが、商店街の活性化を目指し、コミュニティ活動の取組
- ・長期空き店舗だったスペースを「にぎわい広場」として整備し、児童絵画展や高齢者向け健康測定会など、住民同士の交流の場を提供
- ・住民出店のフリーマーケットや地元ゆかりの落語家の公演会などの開催により人が集まるようになり、空き店舗が解消



・ 緑が丘団地（三木市）では、民間事業者等と連携し、自動運転による移動サービスの提供など先進的な取組を推進

自動運転の実証実験を実施

代表的な取り組み①（自動運転車両実証実験）

- 予め設定された自動運転走行区間（約2.6kmの範囲内）の沿線住民を対象者にした市街地公道での自動運転による送迎サービス。
- モニターとなる利用者は、電話またはWEBアプリで事前にサービスを利用したい日時・出発地・目的地を入力・予約し、自宅から約1km～2km程度（ワンマイル）の短距離にある公民館・自治会館・スーパーを行き来できるサービス。



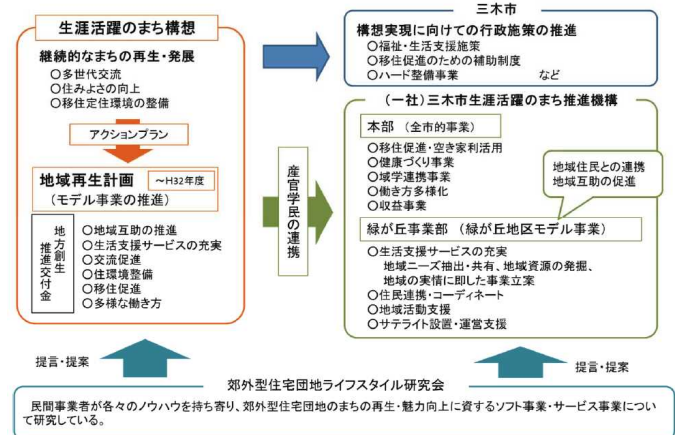
運行車両：トヨタエスティマをベースとした自動運転車両1台（定員2名：ドライバーとモニターが乗車）

国土交通省報道発表資料を再編集

産官民学がまちづくりで連携

代表的な取り組み②（産官民学連携による再生組織設立）

- 産・官・民・学が連携した再生手法の検討、支援組織の立ち上げ。
- 地域内にサテライト拠点を設置し、地域交流や移住・住替え等を促進。
- ICTを活用したコワーキングスペースの設置等、就労環境の整備。
- 健康、福祉サービス等の利便サービスの提供。
- 地方創生の課題として地域再生計画に位置づけ、地方創生推進交付金により取組を支援。

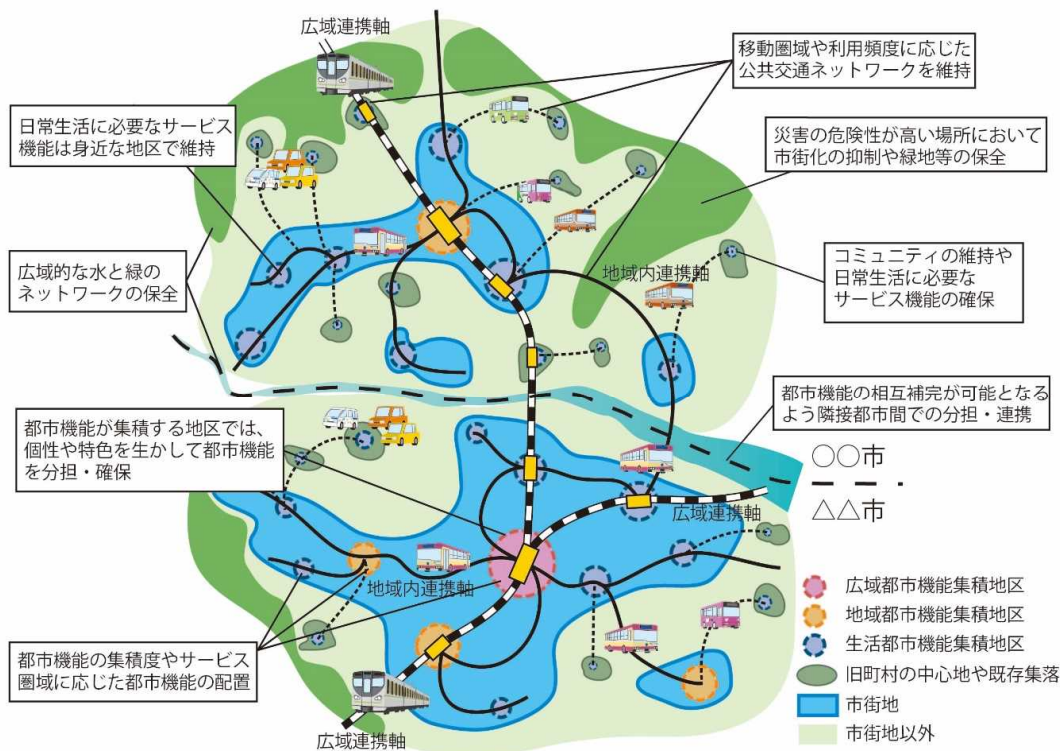


首相官邸HP資料を再編集

視点② 連携したまちづくりが進んでいるか

- 市町間・地域間における連携
- 行政と民間の連携

- ・大都市、地方都市、中山間地域等が**産業、医療・福祉、商業等の諸機能を役割分担し、相互に連携**することにより、各地域が活力を持って自立できる都市構造を目指す



出典：兵庫県都市計画区域マスタープラン 59

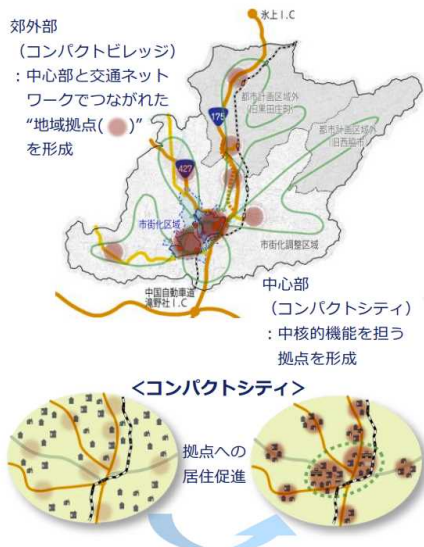
コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくり

- ・人口減少が顕著な中心市街地と新興住宅エリアを核とした**2つの都市機能誘導区域**とそれを取り囲む**居住誘導区域**を設定
- ・「播州織」をキーワードにしたファッション都市構想を掲げ、産業施策と連携したまちづくりを展開

■ 将来の都市の骨格構造

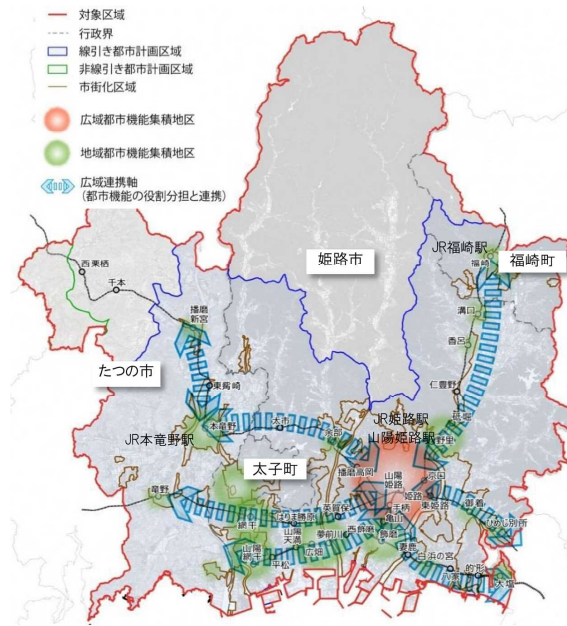
中心部・郊外部の各地域で全てのサービスを満たすのではなく、中心部と郊外部を公共交通によってつなぐことにより、持続可能な都市の実現を目指します。

～コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくり～



出典：西脇市立地適正化計画（概要） 60

- ・姫路市、たつの市、太子町、福崎町で、**広域的な立地適正化の方針**を策定
- ・広域的な都市機能の集積を図るべき地区を姫路駅周辺、その他の地域的な都市機能の集積を図るべき地区を各拠点に設定し、役割分担を整理



役割分担 【都市機能の役割分担と連携(都市機能集積地区の位置づけ)】

広域都市機能集積地区(姫路駅周辺)
 姫路駅前に大規模店舗、医療系専門学校を誘致、民間病院と公営病院を統廃合等により、高度で多様な都市機能の強化を図るとともに、国際競争力の強化や県を代表する顔としてふさわしい風格のある都市空間の形成を図る。

地域都市機能集積地区
 広域都市機能集積地区と連携しつつ、広域行政機関(国県機関)、高度医療施設、大規模商業施設等の高度な都市機能を役割分担し、維持・充実を図る。
 また、他の地区との距離を勘案した配置や、連携による相互補完についても考慮する。

姫路市(姫路駅周辺)

姫路市(飾磨駅、野里駅、網干駅、山陽網干駅、広畑駅・夢前川駅、はりま勝原駅等)
 たつの市(本竜野駅・市役所周辺、竜野駅等)
 太子町(役場周辺)
 福崎町(福崎駅、役場周辺)

<高次都市機能増進施設の設定及び役割分担>

分野	高次都市機能	役割分担
医療機関	三次救急医療機関(救命救急センター)	姫路市
	二次救急医療機関	姫路市・たつの市
教育機関	大学	姫路市・福崎町
	短期大学 専修学校	姫路市
スポーツ施設等	総合公園	姫路市・たつの市・太子町
主要コンベンション施設		姫路市
商業施設	百貨店、大型SC等	姫路市・たつの市

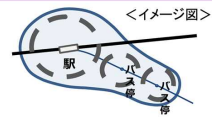
●周辺都市との公共交通施策の連携

福崎町地域公共交通網形成計画
 姫路市と連携し、公共交通空白地で新たなバス路線を運行することで、福崎町、姫路市の双方にある移動・通勤等需要や、潜在的な利用者の創出を図る。

○**広域での地域公共交通網形成計画**
 令和2年度の姫路市地域公共交通網形成計画の改訂にあわせて、2市2町での広域的な交通の方針の作成に向けて調整中。

居住推進 【公共交通利便性の高い区域への居住推進】

- ・鉄道駅周辺に集積する広域・地域都市機能の利便性を活かした居住の推進を図る。
- ・**鉄道駅からの徒歩圏**や、**鉄道駅にバス利用でアクセス可能な圏域**を基本として、各都市が居住誘導区域を設定。

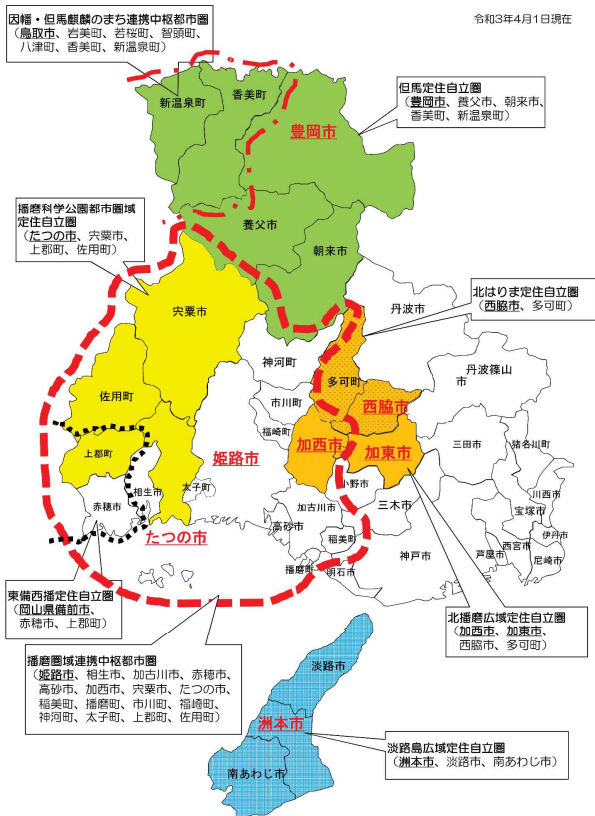


- 居住誘導区域
- 徒歩等利用圏域

出典：国土交通省資料

定住自立圏・連携中枢都市圏の状況

- ・定住自立圏は県内に5カ所設立
- ・連携中枢都市圏は県内及び鳥取県にまたがって、計2カ所設立。



定住自立圏

名称	市町数	中心市宣言
北はりま定住自立圏	2	西脇市 (H22.1)
但馬定住自立圏	5	豊岡市 (H23.3)
淡路定住自立圏	3	洲本市 (H24.10)
北播磨広域定住自立圏	4	加西市・加東市 (H27.3)
播磨科学公園都市圏域定住自立圏	4	たつの市 (H27.9)

連携中枢都市圏

名称	市町数	連携中枢都市宣言
播磨圏域連携中枢都市圏	16	姫路市 (H27.2)
因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏	7	鳥取市 (H30.4)

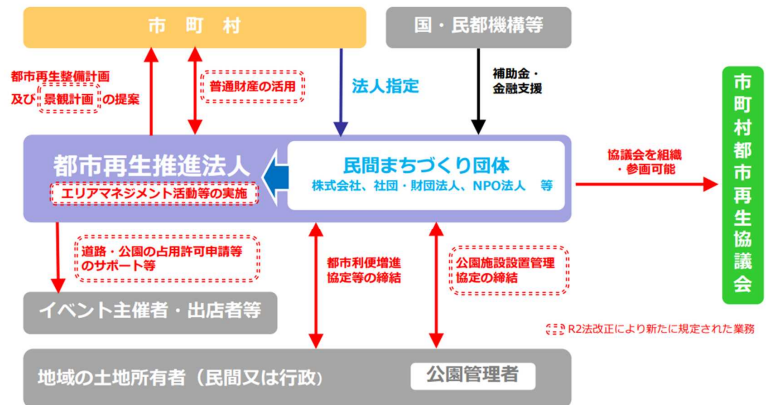
出典：国土交通省資料

- ・令和2年10月末時点の都市再生推進法人は、**全国で75団体、県内では2団体**
- ・その後、神戸市で2団体が指定され、**現在は4団体**となっている

豊富なノウハウや人材を持つ団体の活用

市町村は、まちづくりの新たな担い手として行政の補完的機能を担う団体を指定

行政や民間デベロッパー等では十分に果たすことができない、まちづくり活動のコーディネーターや推進主体としての役割を期待



出典：官民連携まちづくりポータルサイト

県内の指定状況

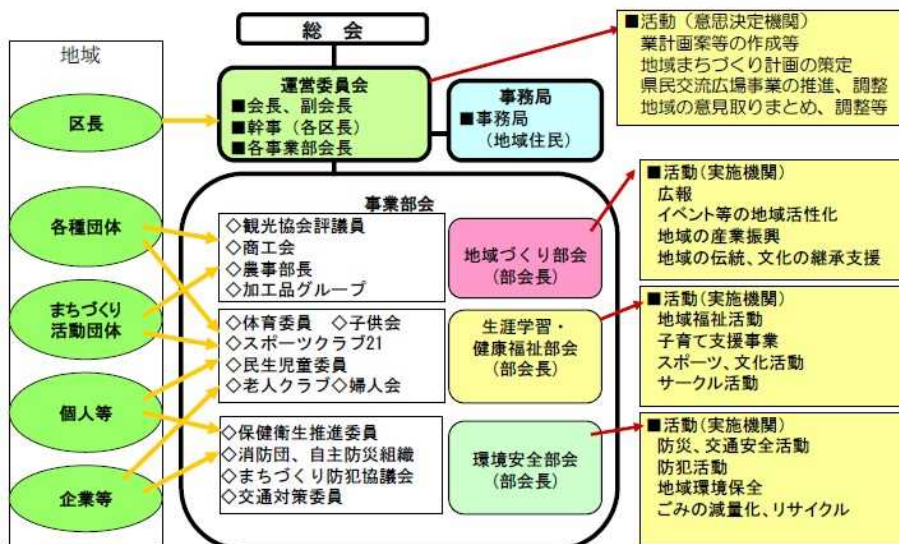
団体名	市町	主な活動内容	指定年月日
神戸ハーバーランド株式会社	神戸市	ウォーターフロントを生かしまちづくり	平成31年2月12日
株式会社PAGE	福崎町	古民家や文化財の面的な活用と賑わいづくり	平成31年2月19日
NPO法人わくわく西灘	神戸市	水道筋商店街と住民による地区の賑わいづくり	令和2年10月15日
一般社団法人 リパブルシティイニシアティブ	神戸市	東遊園地と周辺エリアを巻き込んだまちづくり	令和2年11月30日

行政と地域の連携（朝来市の事例）

- ・朝来市では、市内11地区で地域自治協議会を設立
- ・地域の様々な団体や事業者が連携・協働し、地域運営に参画

地縁型組織である自治会とテーマ型組織である各種団体、NPO等が協調・補完

住民の安全・安心の確保、生活利便性の向上、自然環境やまちなみ保全、高齢者・障害者支援、子育て支援、青少年健全育成、産業の活性化、祭りや地域文化の伝承などの公共的な活動を展開



出典：朝来市HP

与布土自治協議会

- ・活動の持続性を高めるため、コミュニティビジネスにより財源の確保を目指す
- ・経営・食材調達・シェフ確保などのノウハウがない中、色々な職業のメンバーの知恵を結集した農家レストランを運営



百笑茶屋 喜古里

出典：歴史的資源を活かしたまちづくりガイドブック（兵庫県）